

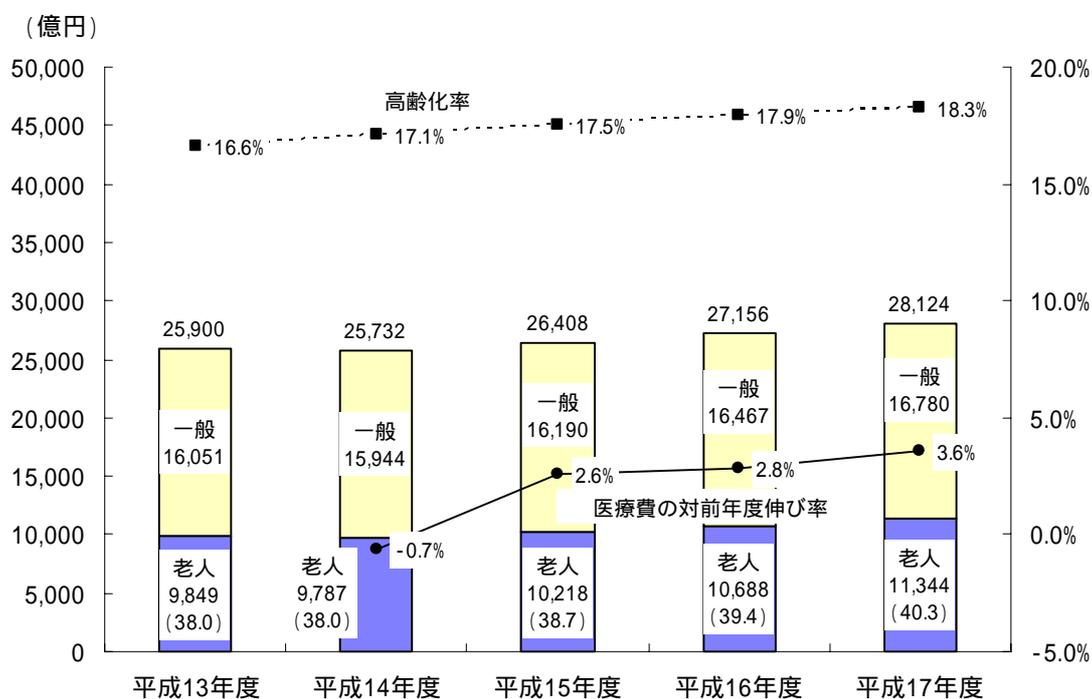
1 都民医療費の推移

平成 17 年度における都民医療費^注総額は 2 兆 8124 億円、70 歳以上の老人医療費は 1 兆 1344 億円となっており、老人医療費は医療費総額の約 40%を占めている。

都民医療費 = 国民健康保険医療費 [国民健康保険に加入する都民 (都内在住患者) 分の集計値]
+ 被用者保険 医療費 [都内医療機関分の集計値から被用者保険に加入する都民分を推計]

被用者保険とは、政府管掌健康保険、健康保険組合、共済組合、船員保険である。

図表 1-1-1 都民医療費の推移



() 内：老人医療費が医療費総額に占める割合 (%)

注 本書において、「都民医療費」は、『都道府県別の医療費の将来見通しの計算ツール』により算定された都の推計実績医療費総額から、公費負担医療給付分を除いた額となっている。

なお、公費負担医療給付分を含んだ都民医療費総額は、下表のとおりである。

また、「都民医療費」は推計実績値であるため、厚生労働省の提供する計算ツールの更新により、今後データが変更になる可能性がある。

(単位：億円)

	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
都民医療費総額 (公費負担分含む)	27,234	27,121	27,911	28,735	29,772

出典：『都道府県別の医療費の将来見通しの計算ツール』(厚生労働省)

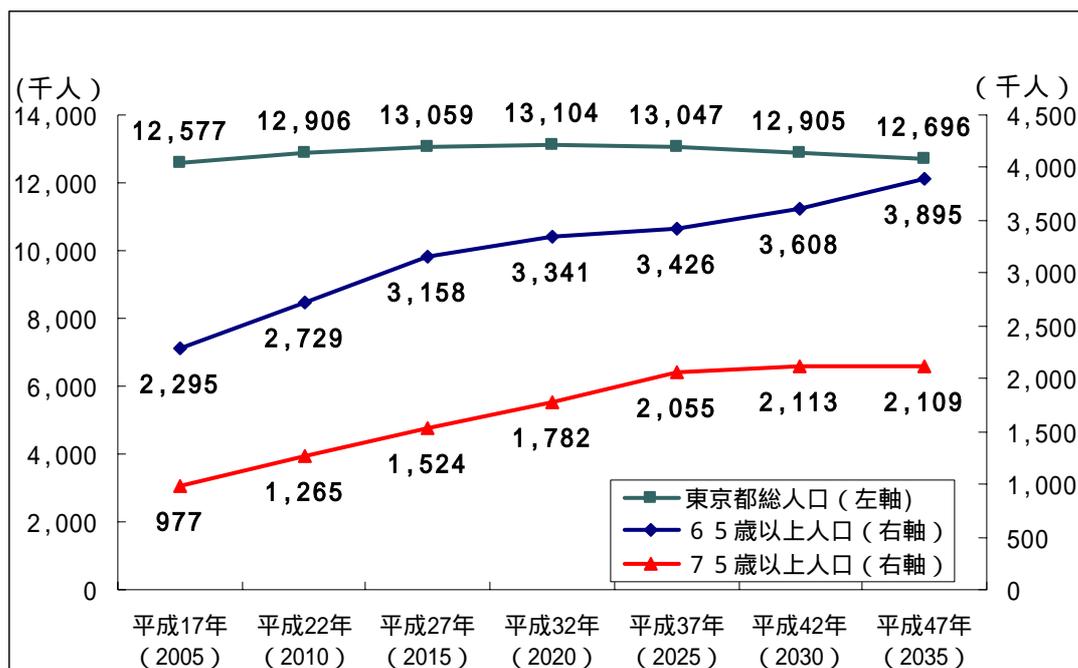
『平成 17 年国勢調査』(総務省)

『住民基本台帳による東京都の世帯と人口(町丁別・年齢別)』(東京都)

東京都の総人口及び高齢者人口（65歳以上人口・75歳以上人口）の将来推計をみると、総人口はほぼ横這いの状況で推移することが見込まれるが、平成17（2005）年から平成37（2025）年までの20年間で、75歳以上人口が2倍超になることが予想される。

こうした急激な高齢化の進展に伴って、老人医療費は今後高い伸びを示すと予想される。

図表 1-1-2 東京都の総人口・高齢者人口の将来推計



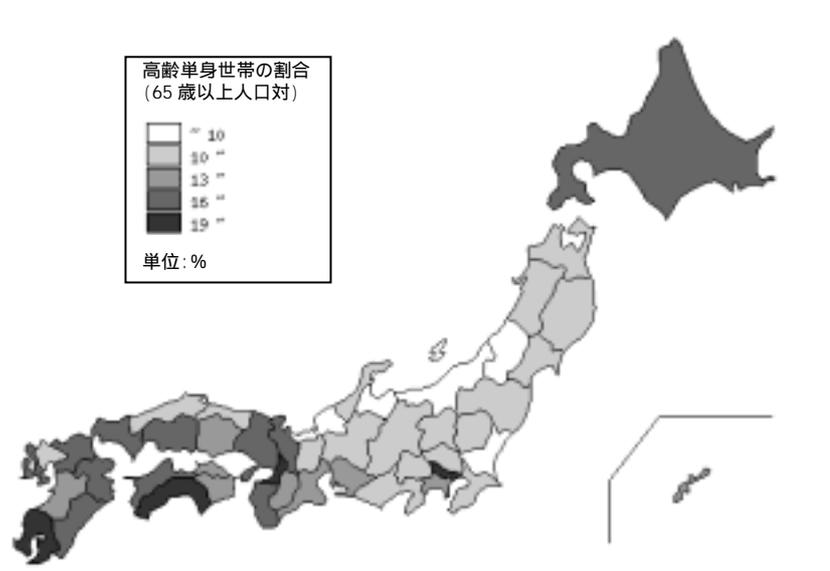
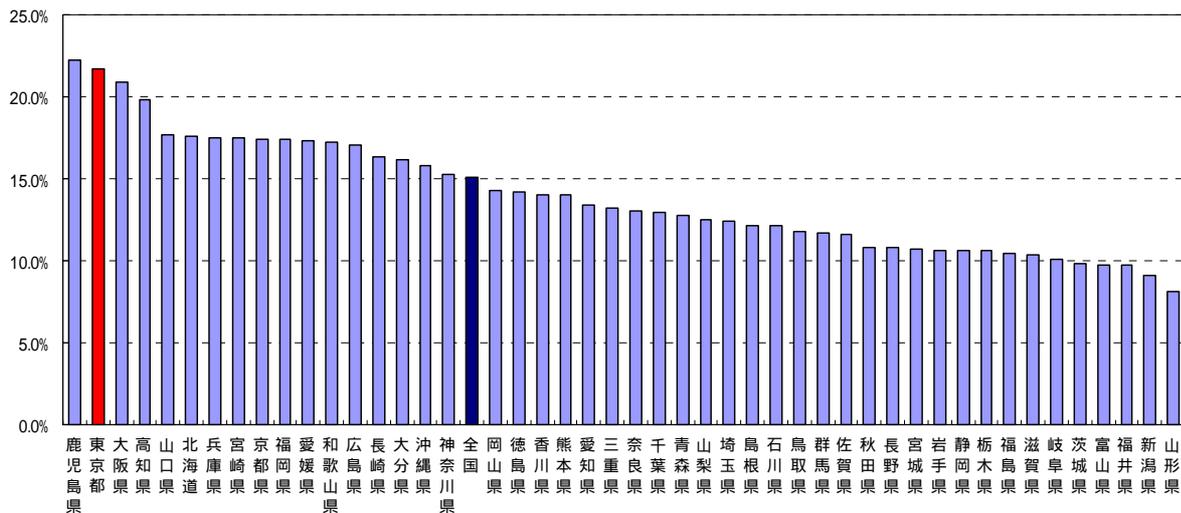
出典：「平成17年国勢調査」（総務省）

「都道府県別の将来推計人口（平成19年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

(参考) 東京都の65歳以上人口に占める高齢単身者の割合

東京都の65歳以上人口に占める高齢単身者の割合は、約22%となっており、鹿児島県に次いで高い割合となっている。

図表 1-1-3 高齢単身世帯の割合(65歳以上人口対)(平成17年)



出典:「国勢調査(平成17年)」(総務省)